

学術発表演習（山本龍生）

Academic Presentation Practice (Fumihiko Yoshino)

キーワード

- ① 学術発表
- ② 学術論文
- ③ 投稿規程
- ④ 抄録
- ⑤ パラグラフ

関連する学位授与方針

- ③
- ④
- ⑤

関連する教育実施方針

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥

授業概要

この講義では、研究成果を広く公表するために、学術発表および学術論文の基本を習得することを目的とする。まず、学術発表に関しては、抄録の作成方法、口頭およびポスター発表の手法、スライドやポスターの作成テクニックについて学ぶ。次に、論文執筆においては、投稿雑誌の選定や投稿規定の確認、執筆プロセス、査読結果への対応、校正、投稿方法について扱う。また、ビッグデータを活用した研究論文や、基礎研究および臨床研究における原著論文の特徴についても取り上げる。さらに、学術発表演習を通じて、研究者として自らの研究テーマに沿った学術論文を系統的に読み解く能力を養成する。

授業科目の学修目標

本科目では、研究成果を広く公表するために必要な学術発表および学術論文発表の方法論について、学術発表方法の知と学術論文の構造を重視しながら、これらに関する俯瞰的な知識と実践的な技能を包括的に修得することを目標とする。

授業計画

- ① 学位論文について 1コマ 星 憲幸
- ② 学術発表の方法論
 - ・抄録の作成 2コマ 山本龍生
 - ・口演・ポスター発表 2コマ 吉野文彦
- ③ 論文執筆の方法論
 - ・基礎系研究論文 1コマ 高橋俊介
 - ・査読結果対応・校正・投稿 1コマ 高橋俊介
 - ・統計・図表 1コマ 湊田慎也
- ④ 原著論文の特性 6コマ 吉野文彦
- ⑤ 振り返り学習 1コマ 吉野文彦

教科書および参考書

これから論文を書く若者のために 共立出版 酒井聡樹 著

履修に必要な予備知識や技能、および一般的な注意

学術発表演習では授業項目で定められた学術発表方法の知識と学術論文の仕組みを理解することが求められる。

大学院生が達成すべき行動目標

- ① 学術発表の方法について説明できる。
- ② 論文執筆の方法について応用できる。
- ④ 原著論文の仕組みについて説明できる。
- ⑤ 研究テーマに沿った学術論文を系統的に追い読解できる。

評価

試験	小テスト	レポート	成果発表	ポートフォリオ	口頭試問	実技	その他
30%	0%	70%	0%	0%	0%	0%	0%

評価の要点

レポート14回5%：70%
試験1回30%（15回に行います。）

理想的な達成レベルの目安

学術発表演習の理想的な達成レベルは80%以上とする。